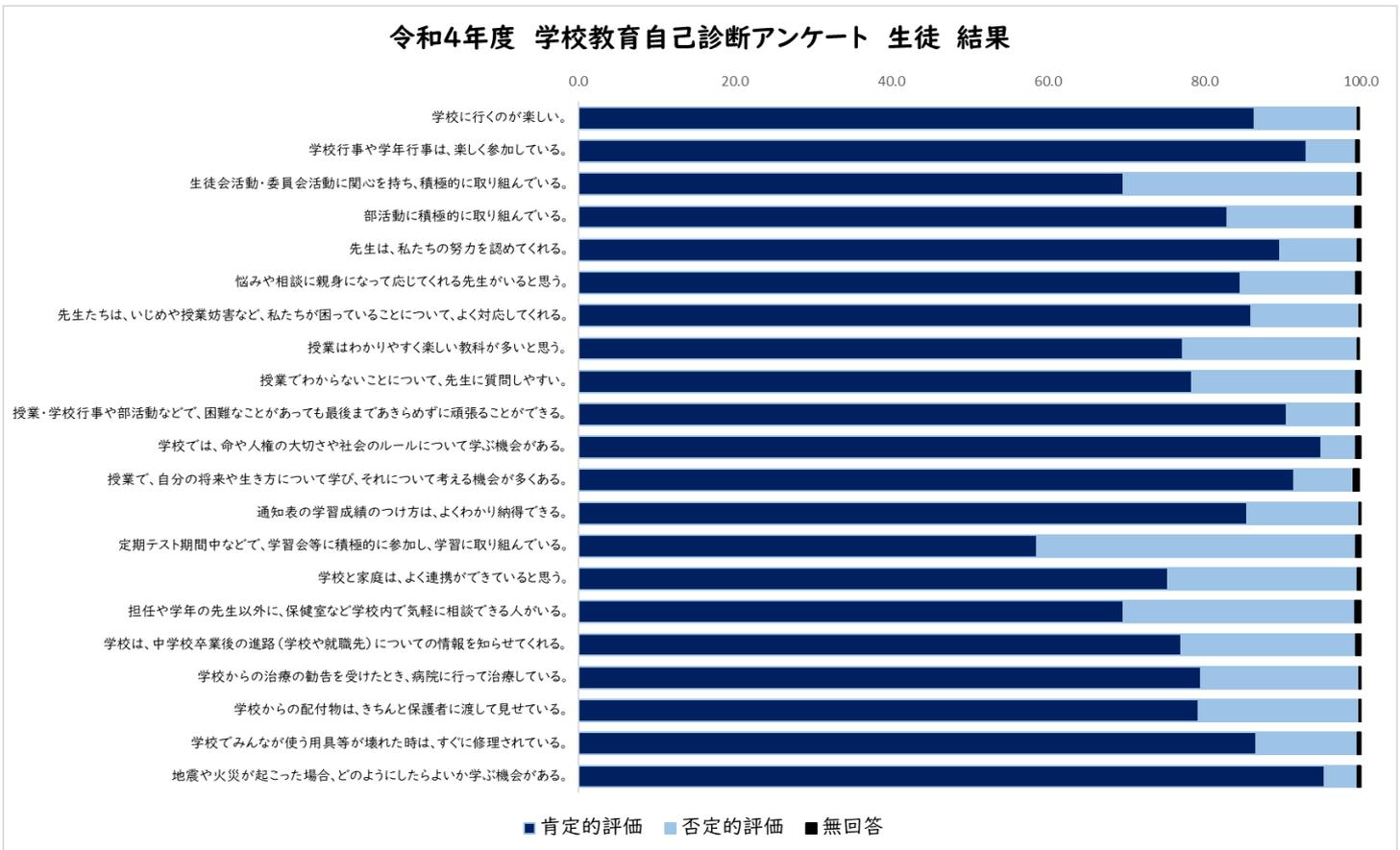


令和4年度 学校教育自己診断アンケート 結果考察

令和5年 2月
茨木市立平田中学校

1. 生徒アンケート 結果



2. 生徒アンケートからの考察(昨年度との比較から)

成果	課題
<p>★「学校へ行くことが楽しい」の項目については概ね良好で、行事、生徒会活動、委員会や部活動に対して積極的に取り組むことができた。</p> <p>★学習に対して、積極的に授業に取り組み、努力している姿がうかがえた。特に、困難なことがあっても、前向きに取り組めると考えている生徒が多くいる。</p> <p>★総合的な学習の時間や道徳の時間を通して、いのちや人権の大切さ、社会のルールや自分の生き方について前向きに考えることができています。</p> <p>★教員が自分たちの困っていることに対応してくれていると思っており、自分たちのことを考えてくれる教員がいると感じている。</p> <p>★避難訓練を通じて、学んだことが経験として積みあがっている。</p>	<p>★授業について、前向きに取り組んでいるが、定期テスト前など学校で積極的に自発的に学習するように引き続き働きかけていく。</p> <p>★担任や学年の教員がしっかり話を聞いている状況もあり、それ以外での相談窓口はなかなか思いつかない状況である。相談内容により窓口を変えて話ができることを周知していく必要がある。</p> <p>★3割以上の生徒が学校からの配付物をきちんと保護者に渡せていないということなので、配付だけではなく、保護者に渡す意識付けが必要だと考える。</p>

3. 保護者アンケート 結果



4. 保護者アンケートからの考察(昨年度との比較から)

成 果	課 題
<p>★子どもは学校に行くのを楽しみにしているという項目は概ね良好であった。</p> <p>★今年度は、参観や文化発表会など今までできなかった保護者の参加を実施することができた。保護者の方に学校での生徒の様子を見てもらうことができた。</p> <p>★生徒に関する相談について保護者と連携を図ることができている。</p> <p>★生徒の学習評価に対して適切な評価を遂行していることについては概ね良好であった。</p> <p>★学校からのお知らせやホームページや災害の情報などについては、個人のプライバシーを守って配付・配信を行うことができた。</p>	<p>★「すべての教育活動において生徒の人権を尊重する姿勢で指導する」ことについて課題がある。生徒の人権をしっかりと守ることで、人権を大切にす心や社会のルールを守る態度を育てることにつながることを教職員間で共有していく必要がある。</p> <p>★学力については適切に評価しているが、生徒の能力や努力を適正に評価してもらえていないという結果であった。授業で生徒それぞれの努力が図れるような授業づくりをしていく必要がある。</p> <p>★生徒指導について、子どもへの理解をもう少しして指導してほしいと考える保護者の意見をしっかりと受け止めていく必要がある。そのためにも保護者と連携してしっかりと子どもの状況や考えを理解していきたい。</p>

5. 生徒アンケート・保護者アンケート通して見えたこと(分析)

○今年度の生徒アンケートと保護者アンケートについて共通する課題としては、家庭との連携であった。

- ・生徒への対応は丁寧に応じていると生徒・保護者のアンケートに共通して「概ね良好」ではあるが、学校での生徒の姿などが伝わりにくい点が課題につながったと考える。

○生徒アンケートと保護者アンケートでの相違点として、「授業のわかりやすさについて」と「命や人権を大切にできる心や社会のルールを守る態度を育てる」ことについてであった。

- ・授業および命や人権を大切にできる心や社会のルールなどを伝える取り組みは学校に多くあるので、生徒の具体的な姿を丁寧に保護者に周知していく必要がある。

6. 次年度からの取り組みとしての方策

●授業づくりについて

- ・わかりやすく魅力ある授業づくり
- ・言語活動を推進し、言語能力や読解力、情報活用能力を伸ばす授業づくり
- ・日常の課題を見つけ出し、自らの言葉で説明できる取り組み

●相談体制の構築

- ・相談窓口の周知
- ・生徒の人権を尊重した生徒指導
- ・保護者との連携を深め、家庭・保護者に信頼される学校づくり

●生徒の学びの発信について

- ・生徒が総合の授業で学んだことなどがわかるようキャリアパスポートの活用

●学校からの案内のICT化

- ・ICTを利用し、学校からの案内を直接保護者に届くような仕組みづくり